

コース名	質問 印象に残ったカリキュラムとその理由を教えてください。	質問 インターンシップ全体を通して感じた具体的な感想を教えてください。
監督官コース	労働相談・監督指導・司法事件処理のロールプレイングが印象に残っています。 大学では、法を学んでいますが、その中の事例問題と共通する部分があったからです。 特に、事例問題で学説や判例の見解を前提に、当該事案について当てはめ結論を導き出すという議論の進め方が、労働相談において切り分けをする際、労働基準法や安全衛生法の知識を相談内容で活かして、違反するかどうかを考えその後の措置を検討するという作業に似ていると感じました。 また、共通する部分がある一方で大きく異なる部分があったということも印象に残った理由です。 事例問題においては問題を解くにあたって必要かつ最低限の情報が問題文に記載されている一方、労働相談では労働者は何もわからないまま相談に来るため話の中から必要な情報を適切に抽出する必要があります。そのためにコミュニケーション力が必要不可欠となるということを実感しました。大学の授業の中だけでは学べないことであったので、実務をすることができてとても勉強になりました。	私はアルバイトで人が足りていない時や忙しい時は終了時間にあがれなかったり、休憩が取れなかったりすることがあり、労働環境について考えるようになりました。また以前より行政に携わりたいと考えていたため、労働基準監督官の仕事内容について興味を持ち、今回のインターンシップに参加させていただきました。 私は本インターンシップに参加するまで、法律に基づいて事業所に行き監督をするというぼんやりとしたイメージしかなく、労働基準監督官がどんな仕事をしているか詳しくは知りませんでした。労働相談・監督指導・司法事件処理のロールプレイングにおいては、相手から必要な情報を聞き出すために自分で考えて質問をし、相談を聞いたり指導をしたり、さらには供述調書まで書かなければならず難しいと感じることも多かったですが、実際にどのような仕事をしているのか詳しく知ることが出来ました。特に説明をして労働者や使用者に理解して貰えた時には達成感を感じ、監督官のやりがいも直接体験することができました。 ロールプレイングや座談会において積極的に発言や質問を行い、様々な場面で監督官の方や監督官コースの人とコミュニケーションを自分からとることは本研修において良かった点だと思います。 大学での学びが活きる場面もありましたが、賃金請求権の時効や使用者の労働者に対する周知義務の内容など分からないことも多くありました。 改善点とともに、法律の知識や使い方、コミュニケーション力など今後監督官として働くために何が必要になるかを学ぶことができたため、それらを向上させられるよう大学の講義やゼミでのディスカッションなどにより一層力入れていきたいです。
監督官コース	ロールプレイング全般 監督官がどのような仕事をするのか参加当初は全くわからなかったが、業務を模擬的に体験できたことで業務内容の理解ができたとともに労働基準監督官の仕事に興味が湧いたため。 感想発表会 五日間の振り返りができてアウトプットすることの練習にもなった。また他のインターン生の内容を聞いて自分の持っていない視点や新たな発見にも繋がった。	監督官の存在すら知らないままインターンに参加したが、労働法に関する知識やロールプレイングを通じて監督官という仕事に興味が湧き、監督官試験に向けて勉強するモチベーションにも繋がった。また、多くの人と関わる機会があり、業務に関することだけでなく、刺激となり人間としての成長もできたのではないと思う。監督官の方々が非常に優しくとても活動しやすかったし、楽しく充実した五日間を過ごせた。来年の試験に向けてがんばります。
監督官コース	印象に残ったカリキュラムはロールプレイング全般です。 理由としては、監督官の仕事を実際に体験できたこと、実際に指導する際に必要だったコミュニケーション能力が自分に足りていないことを実感できたことの2つです。	緊張していたのですが、いろいろと質問したら優しく答えてくださってうれしかったです。監督指導や災害調査のロールプレイングなど難しいことも沢山ありましたが、貴重な経験ができて良かったです。パソコンのスキルなど自分に足りていないものに気づききっかけにもなりました。5日間ありがとうございました。

コース名	質問 印象に残ったカリキュラムとその理由を教えてください。	質問 インターンシップ全体を通して感じた具体的な感想を教えてください。
監督官コース	窓口相談 理由: 窓口相談では、労働問題で困っている方々に対して直接助言を行う機会がありました。相談対応を通じて、法律や規則を実践的に適用する方法を学ぶことができ、問題解決に向けた具体的なアプローチを体験しました。このプロセスは、理論と実践を結びつける貴重な機会であり、実際に人々の生活に貢献できる点が非常に印象的でした。 災害調査 理由: 労働災害の事故現場での調査は、事故原因の特定と再発防止策の立案に直接繋がる重要な業務です。事故現場でのスケッチや目撃者への聞き取り調査を通じて、実際の調査手法や事故の分析方法を学びました。このカリキュラムは、理論的知識を実践的に応用するスキルを養うとともに、労働者の安全確保に寄与する点で非常に印象深かったです。 司法処理 理由: 指導に従わない経営者に対して法的な対応を行うこのカリキュラムでは、事実確認や始末書の作成を通じて法律の適用方法を学びました。法的手続きの一環として、詳細な文書作成や実際の対応策を体験することで、法律の実務的な側面を理解することができました。この体験は、法的な問題解決能力を高めるとともに、実務における重要なスキルを身につける機会となり、非常に印象に残りました。	この研修を通して監督官の意義や、やりがい、魅力がよく分かりました。 使用者に法律を周知そして遵守させることにより、労働者を守るだけでなく、労働者のやる気や離職率低下に繋がります、結果的に会社のため、社会のためになることは監督官が存在する意義であり、やりがいになると思いました。また監督官は働き方を自分で工夫して変えられるところや、年功序列ではなく一生懸命働いただけ評価される仕組みになっているのは自分に合っているとも思いました。今後の進路としましては、監督官も視野に入れて勉強していきたいと思います。
事務官コース	全体を通して考えると、事務官（安定）コースを志望したのと、ハローワークに興味を持ったというのがありますが、職業安定部の業務に関する講義や体験が印象に残りました。同じ安定部というくくりの中でも、職業紹介や求人充足サービス、職業訓練や需給調整事業など、様々な部署があって幅広い業務を行っていることを知り、興味深いなと思いました。また講義だけでなく、実際にハローワークや障害者職業センター、ポリテクセンターといった現場も見学できたので、ハローワークの業務をより深く理解することができました。また職業安定部以外の項目で言うと、二日目の午前に行った一般競争入札の体験も非常に印象に残りました。労働局ではあのような仕事もあるんだと意外に思いました。	労働局がどんな仕事をしているのか最初は全く知らなかったのですが、五日間という短い期間の中でもより知識や理解が深まったと思います。労働局への就職を視野に入れる大切な機会になりましたし、そこで行われている様々な行政サービスを知ることにもなったので、今後の就職活動や社会人生活を過ごす中で、労働に関して困ったことや悩みを話す相談先の一つとして考えようと思いました。また実際に、社会人と同じように五日間働きに出るという経験もしてみて、大変だと思いつつも、より社会人になるという意識が強まりました。非常に充実し、学ぶことの多かったインターンシップでした。
事務官コース	①労働相談・報告徴収ロールプレイ ロールプレイで労働相談や報告徴収がどのように進められるのかについて、相談者へ聞くべき質問を考えることや就業規則から法律違反を見つける作業を通して理解することができたため、印象に残っている。 ②甲府新卒応援ハローワーク見学 以前はハローワークについて失業者向けのサービスを行っているという印象だったため、新卒応援ハローワークがあることやまたそこで行われる面接練習やセミナー等のサービスを新たに知ったため印象に残った。 ③ポリテクセンター山梨見学 ポリテクセンターで行われる職業訓練を実際に見学し、受講者の年齢層が幅広いことや女性も多いということを知り、業種に対する印象が変わったため印象に残った。	5日間のインターンで労働局の様々な業務やその役割、学生と社会人との違いについてを学ぶことができた。まず業務について労働局は幅広く労働に関する業務を行っているとわかり、様々な側面で求職者の救済、労働環境の改善に貢献していると学んだ。このことから労働局の業務はとても責任ややりがいのある重要な業務だと感じた。また学生と社会人の違いについて、インターンでは積極的な意思表示や質問が求められ、学生生活では感じないプレッシャーがあったと感じる。このことから社会人は積極性や常に自分の考えを正しく相手に伝わるように迅速に表現する能力が求められると思った。 以上のことを学び、今後は社会人としての能力を十分に身につけることを目標に就職活動を行いたい。

コース名	質問 印象に残ったカリキュラムとその理由を教えてください。	質問 インターンシップ全体を通して感じた具体的な感想を教えてください。
事務官コース	1つ目は1日目のあっせんロールプレイです。理由はいくつもありますが、まずは純粋に、やや緊張もあった初日に長く時間をとって行われたため印象に残っています。また、労働局の業務に規則と照らし合わせて指導をするというような堅いイメージを多く持っていたため、善し悪しではなく二者の納得できるポイントを探す手伝いをするという内容が意外で印象に残りました。活動で行ったグループワークは、他のどのグループ(ペア)ワークよりもヒントが少なく、意見共有に意味がある活動になっていたため、自分の参加という面でも印象に残りました。さらに、労働者役や社長役の話を耳で聞いて分析を行う活動であったため、実際の労働局職員の業務に近いロールプレイを体験できたように感じたことも、特に印象に残った要因になりました。 2つ目は2日目の一般競争入札の模擬体験です。総務課の業務は縁の下の力持ちなイメージがありつつも、特に社会人経験のない学生にとっては想像しづらいものであったため、興味深く印象に残っています。また、備品や官用車の購入で労働局側から企業を指定して単に購入や依頼をするのではなく、一般競争入札のようなやりとりが行われているとは知らず、驚いたことも大きな理由です。	どの業務の説明でも、担当してくださった職員の方の話し方やエピソードから、それぞれ自分の仕事にやりがいや自信を持って業務を行っていることや職員の方同士の明るい雰囲気が伝わり、素敵な職場だと感じました。最初に労働局の業務に対して持っていたイメージとは異なり、意外に思ったり驚いたりすることも多く、参加できてよかったと感じました。
事務官コース	障害者雇用支援のカリキュラムが印象に残りました。 障害者の方にも適切な労働環境を提供するためのサポート体制がこんなにも多くあると知りました。また、ジェネラリストではなくスペシャリストに育てるという点も印象的でした。	ひとくちに労働局の仕事と言っても、基準系、安定系、監督系の仕事に加え労働に関する様々な仕事があることを知りました。すべての労働者に対して適切な労働環境を提供する責務をこのようにして果たそうとしているのだなと感じました。
事務官コース	・甲府新卒応援ハローワーク見学 甲府新卒応援ハローワークの場所を知らなかったので知ることができたから。また、見学することでその場所がどういう場所なのかを知ることができた。 ・求人者支援サービス 企業の求人をどうやってサポートしているのかを知ることができた。また、企業の求人を指摘・サポートをすることで企業の求人が増える	インターン全体を通して、私が調べて知るよりも体験型で想像してたことと違っていただけに気づき、新しい発見ができて良かったです。また、内容によって得意なことで苦手なことをそれぞれ見つけることができました。5日間ありがとうございました。

コース名	質問 印象に残ったカリキュラムとその理由を教えてください。	質問 インターンシップ全体を通して感じた具体的な感想を教えてください。
事務官コース	印象に残ったカリキュラムの一つ目は、報告徴収ロールプレイです。労働相談に応じる職員は、企業側に法律違反があるかもしれないと考えながら話を聞く必要があるため、労働に関する法について知っておくことや報告徴収に向け必要な情報を相談者から聴取しなければならないということを知り、業務の大変さを感じたことやまた、企業の規則と育児介護休業法の規定を比較して規則の問題点を見つける業務を体験してみた際には、規則・規定の文が自分にとって固く読み込みが非常に難しかったと感じたことから、とても印象に残りました。 二つ目は、求人者支援サービスについてのカリキュラムです。私は元々ハローワークに対して、求職者に向けたサービスを行っているというイメージが大きかったけれど、求人者に対しても手厚いサービスを行っているということを知り、とても興味を持ったことが理由です。また、求人票の内容点検・記載内容の充実や求人条件緩和提案の業務を体験してみて、どこを改善したら求職者が応募してくれるのかに加えて、どの程度までの条件緩和であつたら求人者が納得できるのかを考える必要があるという点が難しく、求職者と求人者両方の立場になって考えることの重要性を強く感じたため、印象に残りました。 三つ目は、あっせんロールプレイです。あっせんがどのような流れで行われるのかを見る中で、紛争の背景についてヒアリングを行い明らかにしていくことや申請人と被申請人の主張を正しく把握し、伝えることの難しさや重要性を強く感じたため、印象に残りました。	インターンシップを通して全体的に、業務について詳しく知ることができるカリキュラムが多かった点がとても良かったと感じました。具体的には、あっせんロールプレイや一般競争入札の模擬で、どのような流れで行われているのかを見ることや体験することができたり、また甲府新卒応援ハローワークや局長定例記者会見を見学することができたりしたため、より分かりやすく業務について理解を深められたと感じました。 また、山梨労働局の方々からお話を聞くことができる機会が多かったことが良かったと感じました。自分が労働行政に携わっている方のお話を聞く機会は非常に貴重であるため、インターンシップで意見交換する機会や質問できる機会を多く用意して頂き、より山梨労働局について理解を深めることができました。 さらに、自分の力を使って取り組むことができるカリキュラムが多かった点が良かったと感じました。具体的には、労働相談ロールプレイで相談者に対して何を聴取する必要があるのか考えたり、報告徴収ロールプレイで企業の規則と育児介護休業法の規定と比較して規則の問題点を探したりというカリキュラムを通して、自分がどのようなことが得意・苦手なのかを知ることができ良かったです。
事務官コース	あっせんロールプレイや競争入札など、実際に話し合いを進めて行うことが出来るカリキュラムがとても印象に残りました。インターンシップ全体を通して同じくですが、このカリキュラムを通してチームワーク力を磨けたことや、実際に職員の方々がどのような業務を行っているのか知ることが出来たのが良かったです。	まず初めに職員の方々が皆さん優しく親身になって業務内容を教えてくださったり、私たち学生のキャリア形成のサポートとなる情報を与えてくださったりとても身になるインターンシップで、参加して多くの学びを得ることができたなと思いました。私は公務員自体に絶対的な拘りがあった訳ではないのですが、公務員のやりがい、大変なことを様々な側面で知ることができ、キャリア選択の幅が広がりました。今回のインターンシップでご指導をくださった職員の方々にとても感謝しています。